小型血糖測定器（自己検査用グルコース測定器）

グルテストNeoスーパー

採血用穿刺器具

エースレットⅡ

採血針（単回使用自動ランセット）
BDウルトラファインランセット30G

操作方法

正しい血糖測定をするために。

※詳しくは各製品の取扱説明書をご覧ください。

製品の取扱いに関するお問い合わせは、三和化学研究所へ

フリーダイヤル **0120-07-8130**（ハ イ サン ワ）

365日24時間お受けいたします

株式会社 三和化学研究所

血糖測定に必要なものをそろえてください。

1

グルテストNeo
スーパー

グルテストNeo
センサー*

エースレットⅡ

採血針
（BDウルトラファインランセット30G）

消毒綿

グルテストNeo
スーパーの各部の名称

* 写真は、グルテストNeoセンサー25枚入です。

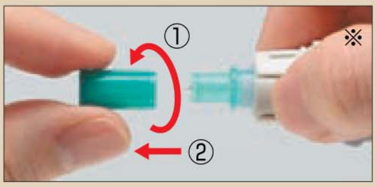
採血の準備をしましょう。

2 採血キャップを取り外します。

採血キャップを回して取り外します。採血キャップを回すときは、透明部を持って回してください。

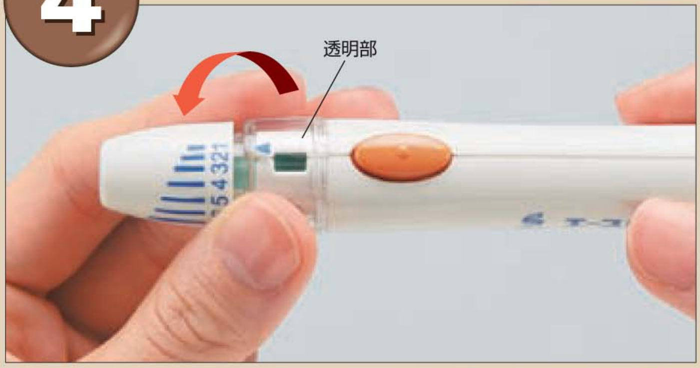
3 採血針を装着し、採血針の保護キャップを外します。

新しい採血針をエースレットⅡのランセットホルダーの底部までしっかりと装着します。①採血針の保護キャップをねじって②外します。



※採血針が空回りなどして固定されないときは、ホールドボタンを両側からつまむと固定されます。

4 採血キャップを取り付けます。



採血キャップを回して取り付けます。採血キャップを回すときは、透明部を持って回してください。

注意 採血針を本品に装着したまま放置しないでください。採血針が誤って射出される危険性があります。

5 「深さ調節ダイヤル」を回して穿刺深さを設定します。

深さ調節ダイヤルを回して穿刺深さを設定します。痛みを最小限にするために、初めてのご使用のときには1から始めて測定に必要な採血量を得る最低の数字に設定してください。

※採血前に誤って穿刺ボタンを押してしまった場合は、つまみをカチッと音がするまで引っ張ってください。

穿刺深さの目安	表示設定
より浅く穿刺します	1−2
標準的な深さ	3−5
より深く穿刺します	6−7

血糖測定の準備をしましょう。

6 グルテストNeoセンサーを1枚取り出します。取り出したらすぐ閉めます。

乾いたきれいな手でボトルのふたをあけ、1枚取り出します。
取り出したらすぐにボトルのふたを閉めます。

7 グルテストNeoセンサーを挿入します。

おもて面を手前にして奥までしっかりと挿入します。

8 自動的に電源が入ります。

自動で電源が入り、左図のような表示が出た後に、
血液マーク[●]と前回の測定結果が交互表示されます。

採血をしましょう。

9 消毒し乾燥させた後、指先にあてて穿刺ボタンを押し、血液滴を得ます。

消毒綿で採血部分を消毒し乾燥させます。オレンジ色の穿刺ボタンを押して必要な血液滴を得ます。

注意 穿刺ボタンを押す前に、ご自身の深さ設定かどうか再確認してください。

血糖を測定しましょう。

10 血液滴マークと前回の測定結果が交互表示されていることを確認します。

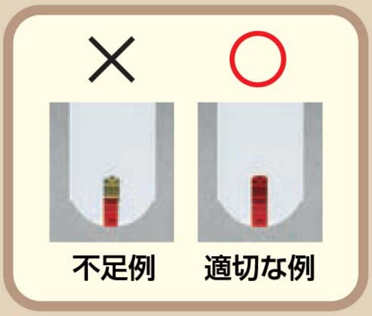
血液マーク[●]と前回の測定結果が交互表示されていれば、血糖測定ができます。グルテストNeoセンサーを挿入して5分を過ぎると「ピピッ」とブザーが鳴って電源が切れ、表示が消えます。この状態では測定できません。一度グルテストNeoセンサーを抜き取り、再度挿入してください。

※測定結果がないときは「mg/dL」のみ

11 血液を吸引させます。

血液をグルテストNeoセンサーの先端部に触れさせます。
血液は自動的に吸引され測定を開始します。
グルテストNeoスーパーはカウントダウンを行います。

グルテストNeoセンサー 先端部模式図



注意 血液の吸引量が不足すると、「ピー」と長いブザーが鳴って「E−9」が表示されます。この場合には、新しいグルテストNeoセンサーを差し込んで測定をやり直してください。

12 血糖値が表示されます。

5.5秒後に「ピッ」とブザーが鳴り、測定結果が表示されます。

※測定値はグルテストNeoスーパーに記憶されます。

※血糖値が10mg/dLを下回った場合は「Lo」、600mg/dLを超す場合は「Hi」と表示されます。

※測定結果に食後マーク「⊐—」またはデリートマーク「DEL」を付けることができます。

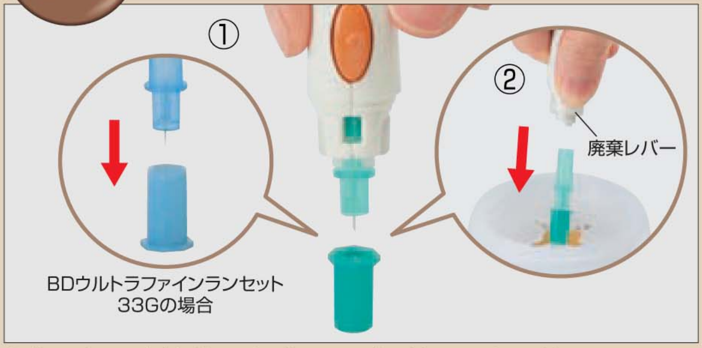
注意 測定値は糖尿病手帳等に記録してください。

13 グルテストNeoセンサーをはずします。

測定が終わったら廃棄レバーをスライドさせ、グルテストNeoセンサーをはずします。グルテストNeoスーパーの電源は自動的に切れます。

注意 使用後のグルテストNeoセンサーは感染の危険性があるため、他の人に触れないように廃棄してください。

14 使用済採血針を保護キャップに刺して安全に廃棄します。



①使用済みの採血針を、保護キャップに刺すなどして捨てます。
②廃棄レバーを押して、使用済みの採血針を針回収容器に廃棄します。

注意 BDウルトラファインランセット33Gを使用の場合、保護キャップをかぶせた使用済みの採血針は外観から未使用の採血針と区別がつきません。未使用のものと混在しないよう十分注意して処分してください。

注意

- 採血用穿刺器具は個人の使用に限り、複数の患者に使用しないでください。付着した患者の血液等を介した感染症の原因となる可能性があります。
- 感染の危険性があるため、採血部位の消毒を必ず行ってください。また、採血後はばんそうこうなどで止血と保護を行ってください。傷口が治りにくいときは、こまめに消毒してください。
- 再使用禁止。一度使用した採血針は必ず廃棄してください。
- 使用時にすでに保護キャップがはずれていたり、ゆるんでいる場合は使用しないでください。
- 耳朶等の組織が薄い部位への穿刺を行う場合は、穿刺部位の裏側を直接指で支えないでください。[組織を貫通した針で指を穿刺し、血液を介した感染のおそれがあります。貫通のおそれがある場合には、他の組織の厚い部位での穿刺について検討してください。]

! 採血・測定のコツ

※手ブレを防ぐため両手を机の上に置いて固定してから採血・測定してみましょう。

エースレットⅡを鉛筆を持つようにしてボタンを押して穿刺します。

グルテストNeoセンサーの先端を血液に軽く触れさせます。

「H22.5作成」GNS-27 84692LT0510